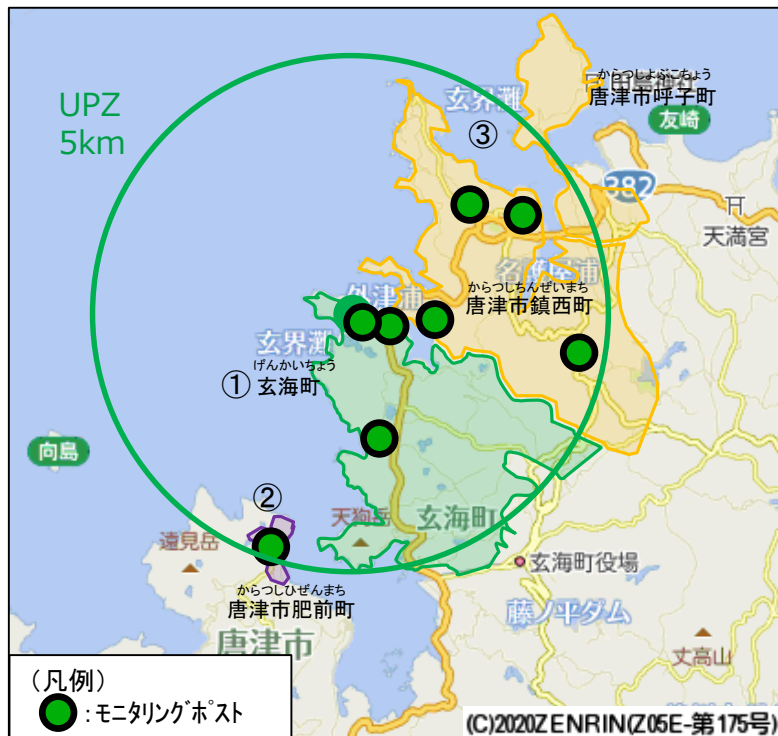


8. 冷却告示の対象である 1・2号機に係る対応

1・2号機に係る原子力災害対策重点区域の概要

- 玄海原子力発電所1・2号機は、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づく廃止措置計画の認可を受け、かつ、照射済燃料集合体が十分な期間冷却された発電用原子炉施設として原子力規制委員会が告示において定めている。
- この告示により、玄海原子力発電所1・2号機に係る原子力災害対策重点区域の範囲は、PAZなし、UPZ概ね5km圏内となり、具体的には、3・4号機に係るPAZと同一の範囲としている。
- 1・2号機のみにおいて発災した場合、全面緊急事態に至った段階で、UPZ(概ね5km圏内)の住民は屋内退避を実施。
- 放射性物質の放出後、原子力災害対策本部が、緊急時モニタリングの結果に基づき、毎時20 μ Svを超過した時から概ね1日が経過した時の空間放射線量率が毎時20 μ Svを超過している区域を特定。当該区域の住民は原子力災害対策本部の指示により1週間程度内に一時移転等を実施。
- なお、他号機においても発災している場合には、他号機に係るPAZとしての防護措置をとることとなる。

1・2号機に係る原子力災害対策重点区域



<概ね5km圏内>

UPZ (緊急防護措置を準備する区域) : Urgent Protective Action Planning Zone

⇒ 事態の進展等に応じて、屋内退避や段階的な避難等の緊急防護措置を準備する区域

1市1町 (玄海町、唐津市) 住民数 : 7,385人

UPZ内地域		想定対象人数	避難行動要支援者
玄海町		3,328人	355人
唐津市	肥前町	130人	10人
	鎮西町	2,798人	179人
	呼子町	1,129人	61人
	小計	4,057人	250人
合計		7,385人	605人

①
②
③

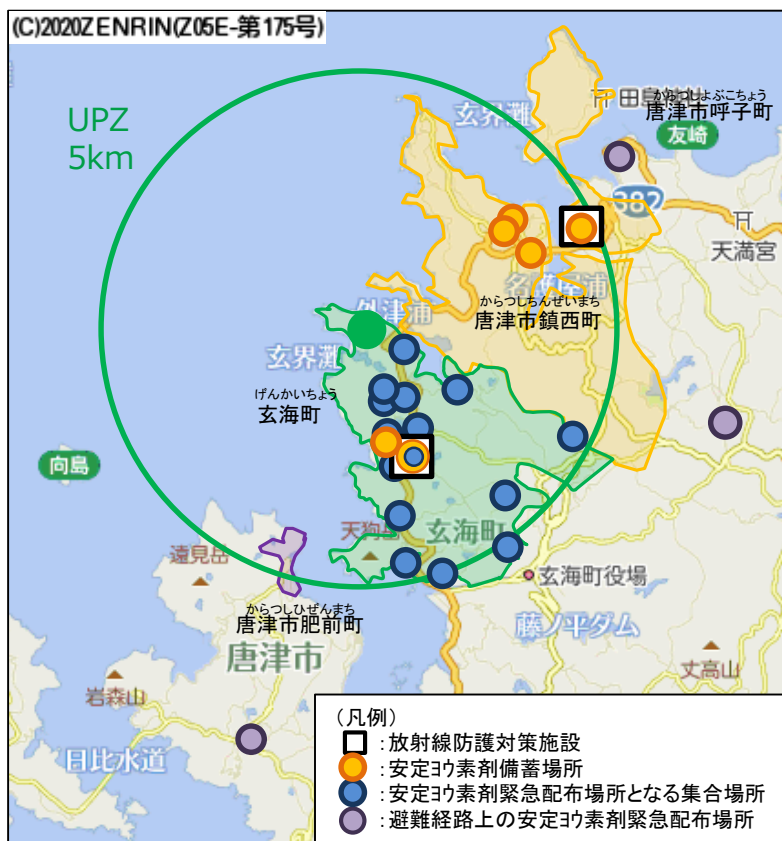
1・2号機に係るUPZ内住民の一時移転等の概要①

- 一時移転等実施区域の避難先及び避難手段については、3・4号機に係るPAZとして避難を行う場合と同様。(避難先はP41、避難手段はP44、P45参照)
- 一時移転等の際の避難退域時検査場所については、3・4号機に係るUPZの一時移転等に備え用意している避難退域時検査場所を活用する。
- 安定ヨウ素剤の服用指示があった場合、住民は事前配布された安定ヨウ素剤を服用する。
- 事前配布を受けていない住民等については、備蓄場所より各市町が指定する集合場所や避難経路上の緊急配布場所、避難退域時検査場所に市町職員が搬送の上、対象住民等に緊急配布を実施。

避難退域時検査場所及び避難先自治体(基本経路)



放射線防護対策施設及び安定ヨウ素剤緊急配布場所等



1・2号機に係るUPZ内住民の一時移転等の概要②

- 1・2号機に係るUPZ(概ね5km圏内)の学校・保育所は、警戒事態で授業・保育を中止するとともに、児童等の保護者への引渡しを開始し、全面緊急事態に至っても引渡しができなかった場合は屋内退避を実施。具体的な行動の手順はP64のフロー図参照。
- UPZ(概ね5km圏内)の医療機関・社会福祉施設は、全面緊急事態で屋内退避を実施。放射性物質の放出後、一時移転等の指示が出た場合、避難の実施により健康リスクが高まる者は、放射線防護対策施設で屋内退避を継続。避難可能な入所者等は、あらかじめ定められた避難先施設へ一時移転等を実施。詳細はP27参照。
- 在宅の避難行動要支援者のうち支援者の同行により避難可能な者は、一時移転等の指示が出た場合、支援者と共に一時移転等を実施。避難の実施により健康リスクが高まる者は、放射線防護対策施設で屋内退避を実施。具体的な対象者数等は、P28、P29参照。
- 観光客等一時滞在者に対しては、警戒事態の段階で帰宅等と呼びかけ、全面緊急事態までに帰宅等が困難な一時滞在者は宿泊施設等で屋内退避を実施。一時移転等の指示が出た場合、佐賀県等が確保した車両で一時移転等を実施。詳細はP60参照。
- 複合災害時において、一時移転等が必要な場合であっても、自然災害による差し迫った危険がある場合には、生命の安全確保の観点から、自然災害に対する避難行動等を優先する。詳細はP82、P83参照。

1・2号機に係るUPZ内の学校・保育所

市町名	学校・保育所名称	人数		
		児童等	職員	合計
げんかいちょう 玄海町	ふたば園	73人	18人	91人
からつし 唐津市	なごや保育園	43人	17人	60人
	かべしま 加部島保育園	17人	8人	25人
	なごや 名護屋小学校	92人	14人	106人
	かいせい 海青中学校	222人	26人	248人
(5施設) 合計		447人	83人	530人

※児童等の人数については、令和2年5月1日現在。

1・2号機に係るUPZ内の医療機関・社会福祉施設

市町名	施設名	施設種別	定員数
げんかいちょう 玄海町	ほった 堀田医院	医療機関	8人
計8人			

<放射線防護対策施設>

市町名	施設名	施設種別	定員数
げんかいちょう 玄海町	げんかいえん 玄海園	特別養護老人ホーム	100人
からつし 唐津市	ほうじゆぞう 宝寿荘	特別養護老人ホーム	80人
計180人			

(避難の実施により健康リスクが高まる者68人) ※
(それ以外の者112人)

市町名	施設名	施設種別	定員数
げんかいちょう 玄海町	グループホーム つばき	認知症グループホーム	9人
げんかいちょう 玄海町	グループホーム げんかいえん 玄海園	認知症グループホーム	9人
げんかいちょう 玄海町	高齢者向け 住宅げんかいえん 玄海園	有料老人ホーム	10人
げんかいちょう 玄海町	宅幼老所 げんかいえん 玄海園	地域共生ステーション	5人
からつし 唐津市	グループホーム なごやか	認知症グループホーム	18人
計51人			

※在宅の避難行動要支援者のうち避難の実施により健康リスクが高まる者(38人)の一部は、安全に避難が実施できる準備が整うまで放射線防護対策施設で屋内退避を実施